



なかざわ 裕隆 中沢ひろたか県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

柏市が児童相談所設置へ

県支援、職員派遣も協議



9月定例県議会で登壇し、一般質問を行う中沢裕隆県議

柏市選出の中沢裕隆県議(3期)は9月定例県議会で一般質問を行い、県の施策を県執行部に尋ねました。中沢県議は柏市が児童相談所設置を表明したことについて英断と評価し、県の支援について柏市との協議の状況を質問しました。また、手賀沼周辺に生息するコブハクチョウによる農業被害が目立っているとして、地元対策への県の支援を求めました。中沢県議の質疑と県執行部の答弁を特集します。

9月定例県議会一般質問

中沢議員 本年5月に県は野田市の女児虐待死亡事件を契機にした児童虐待防止緊急対策を公表した。私の地元柏市でも、市長が児童相談所の設置に向けて取り組むことを表明している。現在、児相を設置している中核市が3市にとどまっている状況の中、船橋市とともに、柏市が設置を表

明したことは大変な英断である。

児相設置に向けての最大の課題は人の問題だそうだが、児童福祉司や児童心理士といった専門職をいかにして確保していくかが課題であり、県とも協議を重ねていると聞いている。そこがかがうが、柏市の児童相談所設置に向けた県の支援に

関する市との協議状況はどうか。

健康福祉部長 中核市における児童相談所の設置は、身近な地域において、子育て支援から児童虐待対応まで、子育て家庭に対する切れ目のない取組の実現につながるものと考えており、県では、中核市である柏市と平成28年度からその設置

について、定期的な情報交換を行ってまいりました。本年2月に、柏市が児童相談所の設置を表明されたところであり、今後は、市の設置に向けたスケジュールや人材育成計画などをうかがいながら、県の支援の具体的な内容について協議を進めてまいりたいと考えています。

再質問

中沢議員 中核市が児童相談所を開設するに当たって、経験豊富な県職員を中核市に派遣することについての県の考えはどうか。

健康福祉部長 中核市が児童相談所を設置する場合には、人材確保が重要であると認識しています。今後、市の人材育成計画などをうかがいし、県職員の派遣も含め、県の支援の具体的な内容について協議を進めていきたいと考えています。

対応マニュアルを改定 安否継続確認を明確化

中沢議員 野田市の事件では、子どもの安否確認がきちんとできていなかったことが問題となった。学校から連絡を受けた時に、関係者が安否確認に動いていない、最悪の事態は防げたのではないかと。そこでかがうが、児童相談所における子どもの安否確認について、野田の事件を受けてどのような改善を行ったのか。

知事 県では、野田市の事件を受けて、本年8月に「子ども虐待対応マニュアル」の改定を行い、児童相談所が在宅で継続指導中などのケースについて、継続的に児童の安全確認を実施することを明確化しました。

改定にあたっては、特に夏休み等の長期休暇時には学校での安全確認が困難な場合もあることから、家庭訪問や通所等の方法を積極的に活用して安全確認を行うとともに、長期休み明けにも、学校と連携して児童の安全確認を行うことを記載したところ。

改定後のマニュアルについては、市町村等関係機関に周知しているところですが、さらに現場への着実な浸透を

図るため、今月から児童相談所と市町村職員の合同研修を実施し、子どもの安全確認を徹底してまいります。**再質問** **中沢議員** 今回の事実を踏まえて、今後、県外における安否確認は、具体的にどの機関がどのように行うのか。

健康福祉部長 本年8月に行われた全国児童相談所長会議において協議が諮られ、申し合わせ事項により、一時的な帰省などの場合は、県外の児童相談所に情報提供を行い、安否確認を依頼することとされています。連携を密にし、確実に安否確認を行ってまいります。

千葉県・柏市についてのご意見、ご要望をお聞かせください。

中沢裕隆 政務調査 事務所 TEL.04(7173)4791

中沢ひろたかプロフィール

略歴

- 昭和45年6月19日生まれ
- 麗澤高校・大学卒業
- 柏市議会議員(3期)
- 千葉県議会議員(3期目)
- 総合企画水道常任委員会委員長
- 総務防災常任委員会委員長

現職

- 商工労働常任委員会委員長

手賀沼のコブハクチョウ

農業に被害及ぼす

地元の対策に県は支援を

中沢議員 手賀沼周辺の水田では外来種であるコブハクチョウの被害が生じており、農業者から柏市などの地元の自治体に対して苦情が多く寄せられている。手賀沼周辺のコブハクチョウは、1973年に初めて目撃されて以来、その数が増え続け、現在では100羽を超えるコブハクチョウが生息していると言われている。

今後は、生活被害の発生も懸念されるが、柏市など周辺の自治体に対して、県はどのような支援を行っているのか。

環境生活部長 県では、これまで、手賀沼周辺の柏市・我孫子市・印西市・白井市と打合せの場を設けるなどして、各市の被害実態を把握するとともに、被害対策を実施する上での課題について、情報共有を図ってまいりました。

また、各市が農業被害や生活被害への対策を円滑に実施できるよう、鳥類に関する知見を持つ民間事業者などの情報を提供するほか、県内外の自治体における対策事例の紹介なども行っているところです。

今後引き続き、手賀沼周辺の各市の意向を聞きながら、適切な支援に努めてまいります。

中沢議員 コブハクチョウによる被害の拡大を防ぐためには広域的な取組が必要であることから、県の知見等を活かして対策が効果的に実施されるよう積極的な支援をしたいと思います。

環境生活部長 手賀沼周辺の各市の意向を聞きながら、適切な支援に努めてまいります。

また、各市が農業被害や生活被害への対策を円滑に実施できるよう、鳥類に関する知見を持つ民間事業者などの情報を提供するほか、県内外の自治体における対策事例の紹介なども行っているところです。

電話de詐欺 未然防止1380件

昨年、行員の声かけなどで

中沢議員 柏市における電話de詐欺の発生状況はどうか。

警察本部長 本年8月末現在、柏市内における電話de詐欺の認知件数は69件、被害総額は約1億1400万円であり、また、電話de詐欺と同様、言葉巧みに高齢者等にキャッシュカード等を提示させ、隙を見て別のカードにすり替えるという窃盗に該当する犯罪の認知件数が16件、被害総額が約2200万円に上りま

す。これらを併せた電話de詐欺については、前年同期比で認知件数が15件の増加、被害総額も約3000万円の増加となっております。柏市は県内でも、電話de詐欺の被害が多数発生している地域となっております。

再質問 中沢議員 被害防止対策によって、電話de詐欺被害を未然に防止した件数はどのくらいあるか。

警察本部長 平成30年中、銀行等の金融機関における声かけ等により被害が未然に防止された件数は283件、同様にコンビニでは85件であり、これらのほか、市役所等の方の声かけであったり、被害者の家族・友人等によるものを含めまして、電話de詐欺の被害が未然に防止された件数は、1億3800万円に上ります。

約3億7800万円の被害の未然防止が図られているところであり、引き続き、関係機関への情報発信や高齢者の周辺の方への働きかけ等の取組を強化し、関係機関等と連携した地域ぐるみ、社会ぐるみでの電話de詐欺被害の防止に努めてまいりたいと考えております。

再質問 中沢議員 被害防止対策によって、電話de詐欺被害を未然に防止した件数はどのくらいあるか。



県の答弁に対して再質問を行う中沢裕隆県議員

五輪聖火リレー 子どもたち参加

中沢議員 オリンピックの聖火リレーに子どもたちが参加できるよう、県としてどのように取り組んでいくのか。

知事 地域が一体となった聖火リレーの盛り上げに、将来を担う子どもたちが、地域の方々と共に様々な形で関わっていくことは、大変意義深いことと考えます。このため県では、特定の場

柏たなが駅に駅前交番を

中沢議員 つくばエクスプレス 柏たなか駅周辺には、現在、交番は設置されていませんが、開発が徐々に進み、居住人口や交通事故等も増加してきていることを踏まえ、柏警察署では、同駅前に移動交番車を積極的に派遣し

本年も8月末までに53回、移動交番を開設しているところであり、同地域については今後も発展が見込まれ、周辺人口が更に増加することも予想されるところであり、県警としても、交番の設置を将来的に検討する必要がある地域と認識しており、今後同地域の発展状況や治安状況等を見ながら、交番設置の可否を検討して参りたいと考えております。

要望 中沢議員 柏たなか駅を中心とした柏北部東区は、区画整理事業の進展とあいまって人口が年々増加している。駅周辺の人口は平成22年に1万4154人であったが、本年には2万8011人となっており、10年間で約2倍に増加している。増加が見込まれる地域である。さらに、今後駅利用者の増加が見込まれ、犯罪発生状況の増加も危惧される。また、当該地区で発生した事件や事故については2キロ以上離れた近隣交番から警察官が向かわなければならず、負担の増加が指摘されている。数年先には千葉県と茨城県を結ぶ都市地区道路の開通も予定されており、地域における交通量が增大することも見込まれることから、しっかり交番設置に向けて取り組んでいただきたい。